

赤光

1970年
6月2日号外

毎月2日、12日、22日発行
半年800 1年1,500(含送料)
定価 1部 1円

編集人 日本マルクス・レーニン主義者同盟
中央委員会・機関紙編集部 東崎 巖
発行所 東京都千代田区飯田橋2-8-4(豊栄会館)
レポルシオン社
電話(03-264)0677 振替東京80708

6.13首都 明治公園へ

六月決戦貫徹・機動隊殲滅
六〇年安保闘争六・一五一一〇周年

人民総武装大決起大会

基調報告 「六月決戦が切り拓く日本革命闘争の新局面
とわれわれの闘い」

豊浦 清

六月一三日 午後五時三〇分 明治公園

全日本の労働者・学生・市民諸君！

米帝のカンボジア反革命軍事介入に対して、全世界の人民が決起し、米帝を包圍している。政府内部にさえ反対派を持つニクソンは、完全に追い詰められた。黒人学生の虐殺は、底なし沼に足を踏み入れたニクソンの気ちがいじみたあがきに他ならない。

われわれは、カンボジア・インドシナ人民の自からの解放をめざす革命戦争を断固支持する。米帝の反革命介入を絶対に許さない。アメリカの青年達の闘いに呼応して、全世界の人民が起ち上がった。ヨーロッパで、ラテンアメリカで……そして中国人民は、毛沢東主席の「反米闘争支持」の声明に答えて、連日アモを展開し、大陸を揺るがしている。日本でも、五月一五日、アジア会議への愛知外相の出席を阻止すべく、早朝からの決起が獲ちとられた。二九日、学生は全国ゼネストで起ち上がった。

安保自動延長―日米共同声明路線を粉碎しよう

全世界の人民の包圍の中で、帝国主義は追い詰められた。しかし、日本帝国主義・佐藤内閣は、人民の意志と真向から敵対し、アジア革命に反革命的に介入している。

全日本の労働者・学生・市民諸君！

今こそ、こぞで起ち上がろう。安保を自動延長し、物価を値上げし、「公害」で人殺しをし、労働者をこき使う……このような佐藤内閣を打倒しよう。佐藤内閣を打倒し、人民が自から社会をつくる時代を切り拓こう。

われわれの闘いには、機動隊が待ちかまえている。あらゆるものを武器に使用して、機動隊を殲滅しなければならぬ。今や、佐藤は機動隊によって守られているのだ。

六月一三日 明治公園へ総集しよう

日本ML同盟は、六月一三日、明治公園において、六月決戦の開始を宣言する政治集会を開催する。日本ML同盟は、六月決戦を責任をもって領導する。闘う人民は、六・一三明治公園に結集し、六月決戦を共に闘い抜こう。

ML旗の下、解放戦線軍団に結集せよ

全国学生解放戦線第三回臨時大会 労働者解放戦線全国総決起集会

六月決戦へ戦闘宣言

全国学生解放戦線、労働者解放戦線は、それぞれ臨時大会、全国総決起集会を開催し、六月決戦に向けて戦闘態勢を築き上げた。

全国学生解放戦線第三回臨時大会における中央執行委員会からの基調報告は、最後に次のように言っている。

——六月決戦をその最先頭に立って領導する部隊は、わが全国学生解放戦線以外ありえないことを自信をもって宣言することができ、二年間の死闘を革命派の最先頭で闘い抜いたわれわれは、最も弾圧されたけれどもそうであるが故に最も強固に鍛えられている。敵が、日和見諸党派が恐れるML派とは、思想性、組織性、戦闘性において最もすぐれているからに他ならない。

——われわれは、この誇りにすべき伝統あるML魂を自らのものとし、六月決戦を十一月決戦をはるかに凌駕する闘いとして実現しなければならぬ。

——六月決戦の意義を一点の曇りもなく鮮明にし、人民総武装の最先頭で闘い抜く決意を打ち固めよう。強固な軍団を建設し、六月決戦を闘い抜こう。

又、労働者解放戦線全国総決起集会は、次のような労働者軍団結成宣言を発した。

——われわれは今、まず何よりも六月決戦を全組織をあげて勝利させること、そのために敵機動隊を殲滅撃破する必勝の労働者軍団を建設することにある。

——昨年、新宿騒乱大闘争に初陣を飾ったわが労働者解放戦線は、熾烈を極めた日本階級闘争の激動の中で満二才になろうとしている。帝国主義支配秩序を日々蚕食する工作活動を地域、職場で展開してきたわれわれは、いまこそその一切の成果を、七〇年代階級闘争勝利への命がけの飛躍として労働者軍団創出に結集させなければならぬ。十一月決戦以後われわれが目指して来た武装した大衆の

大決起はまさに目前に達成されようとしている。あれほど「重たい」と噂された四・二八沖繩解放大闘争も、ML同盟が予見したように、圧倒的な大衆の決起を勝ち取り、十一月決戦を闘い抜いた人民大衆の戦闘的エネルギーが健在であることを証明した。

——問題は、この人民大衆の力を誰が六月決戦に存分に引き出して七〇年代階級闘争の勝利に導くか、ということであり、十一月決戦の地平を誰が革命の七〇年代にふさわしい高みへ押し上げ得るのか、ということである。わが労働者解放戦線は、この課題に応え、「必勝の労働者軍団の建設」へ全力を結集し、あらゆる犠牲を賭して「人民総武装、機動隊殲滅・六月決戦勝利」を闘い取る道を選んだ。

——われわれは、何もものをも恐れぬ必勝のML魂をもって六月決戦へ突撃することを宣言する。手にはいるものすべてを武器に変え、戦闘的人民の大海の中で、インドシナ人民の革命戦争への大合流を必ずや成し遂げること呼びかける。世界は社会主義の日の出を待っている。インドシナの革命の曙光は、日本列島の大地を真赤に染めている。

——全国三千万労働者の勇気をふるいたたせ、六月決戦へ進撃せよ！ 日本ML同盟に従う、鉄の軍団、必勝の労働者軍団結成万歳！

学生、労働者解放戦線の戦闘態勢は固った。六月決戦の鍵は、安保非常体制を打破し、機動隊を殲滅できるかどうかにかかっている。解放戦線は、鉄の軍団を結成しつつある。巨万の人民がML旗の下に結集し、軍団に続くなら、機動隊の粉砕は全く可能である。

あらゆるものを武器とし、街頭に出よ！ 解放戦線軍団は血路を拓く！ 全人民は共に闘おう！